



聖学院大学

報道機関各位

2026年6月25日

埼玉県上尾市戸崎 1-1 聖学院大学

聖学院大学で日本職業リハビリテーション学会第53回を開催 — 自己決定理論の世界的権威 キャリー・A・ショグレン教授（米カンザス大 学）が来日講演 —

聖学院大学（埼玉県上尾市、学長：小池茂子）は、2026年9月18日（金）・19日（土）の2日間、日本職業リハビリテーション学会第53回埼玉大会を本学キャンパスにて開催する。同学会は、障害の有無にかかわらず、誰もが就労を通じて社会参加・自己実現・経済的自立を果たせる社会の実現を目指し、「職業リハビリテーション」の発展と支援のあり方を研究・実践する学会であり、大会長は八重田淳教授（筑波大学）が務める。本大会のテーマは「プロフェッショナルとは何か？ 今こそ向き合う、職リハ支援の本質」であり、自己決定理論の世界的権威キャリー・A・ショグレン教授（米国・カンザス大学）の来日講演をはじめ、国内外から約300名の参加が見込まれる。

◆大会の目的

本大会では、以下の4点を目的としている。

- ①「プロフェッショナル」の本質を問い直すこと。資格や経験だけでなく、利用者の想いに寄り添う姿勢の重要性を共有する。
- ②医療・福祉・教育・雇用など多職種の連携を促進すること。
- ③制度・労働市場の変化に対応し、支援の質を高め続ける学びの姿勢を共有すること。
- ④実践者・研究者・当事者が一堂に集い、基調講演やシンポジウム、分科会、ポスター発表等を通じて実践知と研究成果を共有する場を提供すること。

◆大会の見どころ

- ・世界的権威キャリー・A・ショグレン教授（米国・カンザス大学）と大会長 八重田淳教授（筑波大学）の共同講演を実施。自己決定理論の第一人者から直接学べる貴重な機会となる。
- ・大会企画シンポジウム「生成AI×職業リハビリテーション」、自主ワークショップ、ポスター発表など多彩なプログラムを用意。最新テーマから現場の実践知まで幅広く学べる構成となっている。
- ・国内外（米国・台湾等）から研究者・実践者・当事者が参加し、総勢約300名規模の国際的な学会となる。海外の知見や事例に直接触れられる場でもある。
- ・本学心理福祉学科の学生約25名が大会運営に参画し、地域と大学の連携を体現する。学生にとっても実践的な学びと成長の機会となる。

◆大会概要

日 時：2026年9月18日（金）・19日（土）

会 場：聖学院大学（埼玉県上尾市戸崎 1-1）

大会長：八重田 淳（筑波大学 教授）

特別招聘講演：キャリー・A・ショグレン教授（米国・カンザス大学）

主なプログラム：基調講演、大会企画シンポジウム（生成 AI×職業リハビリテーション）、自主ワークショップ、口頭・ポスター発表

参加対象：職業リハビリテーションに関わる研究者・実践者・学生等

参加申込：<https://www.k-gakkai.jp/shokuriha53> より受付

主 催：日本職業リハビリテーション学会第 53 回埼玉大会実行委員会

取材について

イベントの取材可能です。どうぞお問い合わせください。

キーワード：#職業リハビリテーション #日本職業リハビリテーション学会 #国際学会 #福祉学 #地域連携



※学校法人聖学院はグローバル・コンパクトに署名・加入、SDGs を目指した活動を行います。

【本リリースに関するお問い合わせ、取材のお申し込み先】

聖学院大学 入試・広報課 担当：松崎・平田

Tel.048-780-1707 FAX.048-725-6891 E-mail:pr@seigakuin-univ.ac.jp

Web: <https://www.seigakuin-univ.ac.jp/>

《聖学院大学 概要》

【住所】埼玉県上尾市戸崎 1-1 【学長】小池 茂子（こいけ しげこ）

【設立】1988 年設立 【学生数】学部 1,595 名 院 41 名（2026 年 5 月 1 日付）

【学部・学科】政治経済学部（政治経済学科）、人文学部（国際文化学科／日本文化学科／子ども教育学科）、心理福祉学部（心理福祉学科）の 3 学部 5 学科を設置

【大学院・研究科】政治政策学研究科、文化総合学研究科、心理福祉学研究科